

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：酒井 雄介 〒144-0041 東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

観光目的の入国再開に向けて工程表を示すべき！ ～野田国義参議院議員が航空連合の認識を踏まえ発言！～

3月8日(火)、航空連合政策議員フォーラムメンバーの野田 国義（のだ くによし）参議院議員が、参議院国土交通委員会で斉藤国土交通大臣に対し、アフターコロナにおいて回復が期待される訪日旅行者数の目標値を確認するとともに、航空業界へのさらなる支援策の必要性や、今後の水際対策について、航空連合の認識を踏まえて発言しました。



野田 国義（参）
フォーラムメンバー

- ・政府目標として掲げている**2030年の訪日旅行者数6000万人**という目標について変更はないか。
- ・来年度予算には、航空業界への支援策として、**公租公課の減免措置700億円**が盛り込まれているが、ここにはオミクロン株の影響が十分に反映されておらず、**さらなる検討が必要**ではないか。
- ・**ビジネス目的の入国に関するさらなる緩和**をおこなうとともに、**観光目的の入国再開をも見通した工程表を早急に示すべき**ではないか。

- ・感染状況が落ち着き、中長期的なインバウンドの動向を見通せる状況になったタイミングで、**2030年目標の見直しの必要性も含め、関係者と議論**したい。
- ・本邦航空会社の経営状況は引き続き注視し、**必要な時に必要な手を打っていかなくてはいけない**。
- ・工程表については、政府全体で計画すべき問題であり、**国土交通省としても意識して政府内で提案**していきたい。



斉藤国交大臣